

異常に早く明けた梅雨から始まった今夏。酷暑もようやく収まってきました。この夏も様々な学びの場がありました。

第67回全国公立学校教頭会研究大会

7月31日(木)～8月1日(金)に、茨城県において、大会主題「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり～郷土を愛し 協働して未来にはばたく人財を育む活力ある学校づくりの推進～」をテーマに開かれました。1日目の全体会の記念講演として、人気グループ「米米クラブ」のリーダーとして活躍されているアーティストの石井竜也氏による講演「仲間とともに未来へはばたく人財育成のために～忘れないで あのときめき 一人じゃない もう一度空へ～」が行われました。講演はインタビュー形式で進められ、「郷土愛」「協働」「人財育成」についての石井氏の思いがあふれたお話を聞くことができました。「人財育成」において、個をどのように育てるか、どんな人間になってほしいかを考えるときに「品」「品性」を育ててほしいこと、「品」を教えるのは難しいが、教師の振る舞いや情熱は子どもたちに伝わること、教頭先生は若い先生、悩んでいる先生に寄り添ってほしいことを話されました。2日目は各会場に分かれて課題別に分科会が開かれました。実践報告を受けて協議を行い、学びを深めることができました。



第65回九州地区公立学校教頭会研究大会大分大会

期日：令和7年8月7日(木)～8月8日(金)

会場：J:com ホルトホールなど(1日目分科会) iichiko 総合文化センター(2日目全体会)

【記念講演】講師 大分大学大学院教育学研究科 教授 清國祐二氏
演題 「学校内外の人的資源の活かし方とサーバントの思想」
～行為としての愛と欲求・必要の見極め～



【概要と所感】

清國教授の研究であるサーバントリーダーシップの考え方を取り入れた学校運営から「新たなリーダーシップのあるべき姿」について多くの学びを得ることができた講演であった。

講演全体を通して「学力の差の先には何があるのか？」という問いかけがなされていた。学ぶ喜びを生み出す手立てとして、子どものニーズを「たりない」や「ない」から生み出す必要がある。「私たちは、それをやらずにお膳立てをしてしまっていないか？」など、印象に残る問いかけが多数あった。学び多くそして考えさせられる講演であった。

第1回研究部長会(8月4日)

8月4日(月)、福岡リーセントホテルで、県内各地区の研究部長の教頭先生方にお集まりいただき、第1回研究部長会を実施しました。はじめに、次に、研究要項や研究収録等について提案をさせていただき、本年度の福岡県教頭会の研究について共通理解を図りました。講話では元福岡県警少年育成指導官でスクールカウンセラーの堀井知帆様をお招きして、少年相談のご経験から子どもの心の声に耳を傾ける大切さについてお話しいただきました。各地区の研究部長の教頭先生方のおかげで、充実した研究部長会となりました。ありがとうございました。